

# 香川県 侵略的外来種リスト



香川県で生育・生息する外来種について、分類群ごとに解説しています。



～まるわかりナビ～

# 香川県侵略的外来種リストは私たちの理解不足の反省書

## 外来種問題の対策は、生き物の理解からはじまる

私たちは、衣食住を満たすうえでなくてはならない農作物や家畜のほとんどを国内外から連れてきました。そして、私たちの管理のもとで生育・繁殖をめざしています。

しかし、家畜やペット、観賞用植物など意図的に連れてきた生き物や、物流に紛れて偶然連れてきた生き物が、野外に定着することがあり、分かっているだけで、国内で2000種にもなります。このような生き物を外来種といいます。

野生化した外来種は、長い時間をかけて在来種が作り上げてきた様々な関係を急速に破壊することがあります。その結果、在来生物だけでなく、私たちが生きていく上で必要な自然のバランスをも破壊してしまうこともあるため、やむなく防除しなければなりません。

このように、外来種の問題とは、他の国や地域の生き物から恩恵を得ようとしたが、失敗したり、生き物への対処・取扱いに失敗した事例と言えます。つまり、根本の原因は、私たちが、生き物どうしの関係や、生き物の暮らしぶりに関して理解できていないことにあるのです。

『香川県侵略的外来種リスト』は、香川県に生育・生息する「地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのある外来種」の情報を取りまとめたリストです。

ぜひ、このリストによつて、香川県の外来種に興味を持っていただき、外来種について少しでも理解し、香川県の自然・私たちの暮らしを守るきっかけとなることを心から願います。

## 外来種対策は、世界との約束

【表1】外来種の年表

時代・年代	出来事の起きた場所と内容 ( <span style="color:red">■</span> は日本での出来事)	
①江戸時代以前 (~1868年)	<span style="color:red">■</span>	イネ・ムギなどの栽培植物とともに、外国産の動植物が侵入したらしい。
②明治 (1868~1912年)	<span style="color:red">■</span>	貿易が栄え、農業被害を出す外国産の病害虫が侵入した。
③大正・昭和戦前 (1912~1945年)	<span style="color:red">■</span>	1914年「植物検疫制度」が始まった。 (「輸出入植物取締法」が施行された。)
④昭和戦後 (1945~1989年)	<span style="color:red">■</span>	1950年「植物防疫法」が制定された。
⑤平成以降 (1990年~)	世界	1992年「生物多様性条約」が締結された。
	世界	2001年「世界の侵略的外来種ワースト100」が公表された。
	<span style="color:red">■</span>	2003年「日本の侵略的外来種ワースト100」が公表された。
	<span style="color:red">■</span>	2005年「外来生物法」が施行された。
	<span style="color:red">■</span>	2015年「外来種被害防止行動計画」、及び「生態系被害防止外来種リスト」が公表された。

- ・オオイヌノフグリ
- ・シロツメクサ
- ・キショウブ
- ・ヒガンバナ
- ・スズメ
- ・モンシロチョウなど

- ・ルビーロウカイガラムシ
- ・ヤノネカイガラムシ
- ・イセリアカイガラムシ
- ・オカダンゴムシなど

- 世界全体で生物多様性の保全と持続可能な利用を目指す唯一の国家間合意。
- 「外来種対策」を行うことが明記されている。
- 日本は1993年5月28日に締約国になった。

- この計画では47都道府県は、令和2(2020)年までに「侵略的外来種リスト」を策定することを目標とした。

表紙写真 左上: ヌートリア/緊急対策外来種

左下: タイリクバラタナゴ/重点対策外来種

中央: オオキンケイギク/緊急対策外来種

右上: ソウシチョウ/重点対策外来種

右下: ミシシippアカミガメ/緊急対策外来種

# 香川県の植物（前編）

## 香川県では、3割以上が外来種

香川県では、2,829種の維管束植物が確認されており(2019年6月30日時点)、そのうちの約36%が外来種で、外来種の中の約14%が侵略的外来種です。香川県侵略的外来種リストでは、環境省のリストに掲載されている137種に、特別選定種11種(香川県に近年侵入し今後問題となる可能性のある外来植物)を加え、計148種を掲載しました(裏表紙を参照)。

在来種	1,804種
外来種	1,025種
(侵略的外来種)	(148種)



### ■どこから持ってきたの？

1位	北米	40種
2位	中南米	35種
3位	ヨーロッパ	30種

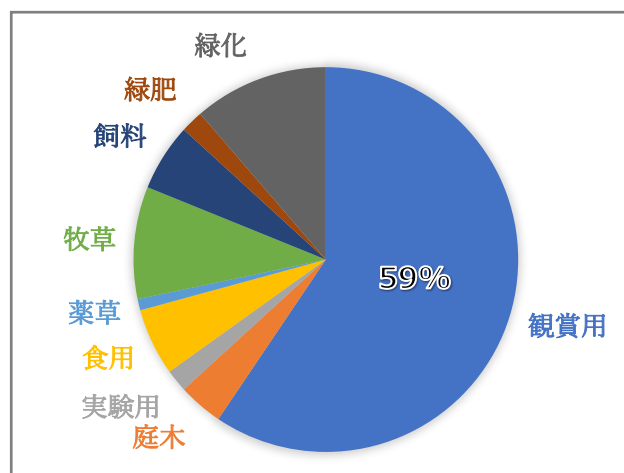
### ■いつ持ってきたの？

1位	明治時代	46種
2位	昭和戦後	32種
3位	大正・昭和戦前	30種

時代区分は、1頁の表1を参照

### ■どうやって持ってきたの？

1位	意図的に持ってきた	106種
2位	偶然持ってきた	11種
3位	不明(分かっていない)	31種



【図1】 侵略的外来植物の導入目的

## ■求められる適切な管理・選択

意図的に導入された侵略的外来種のうち、私たちが生きていく上で本当に必要な食用植物、実験用植物、薬草、牧草、飼料用植物などから野生化した種は少数派です。大半(約6割)が趣味の観賞用の植物で、逸出しないよう、適切に管理することが求められています(図1)。

堤防や道路の法面の緑化に用いる植物は、ノシバを除けばほとんど外来種でしたが、近年、在来種を用いる取り組みが出ています。



和名/導入目的

③オオキンケイギク/観賞用・緑化用  
④アレチウリ/偶然(家畜飼料に混入)

⑥ツルニチニチソウ/観賞用  
⑤オオカナダモ/実験用

⑦アイオオアカウキクサ/緑肥用  
①シナダレスズメガヤ/緑化用

# 香川県の植物（後編）

## ■ 侵略的外来植物による影響

順位	問題点	全種数
1位	在来種との争い	全種
2位	水路をつまらせる	11種
3位	在来種と交雑する	9種
4位	毒がある(人畜に有害)	8種
5位	花粉症を引き起こす	5種

(注) 問題点が複数ある種は 重複してカウント・集計

## 外来植物の何が問題なの？

植物同士の争いのほとんどは、生育する場所に降り注ぐ日光をめぐる争いです。つまり、外来植物はどこに生育しようとも、その環境に自生する在来種のライバルとなります。寄生植物同士でさえも争いがあります。具体的には、香川県在来のマメダオシは、1960年頃に香川県に侵入してきたアメリカネナシカズラとの寄生(寄生して栄養を横取りをする相手)をめぐる競争に敗れ、現在は絶滅寸前にまで追い詰められています。外来植物が引き起こす植物同士の問題としては、生態系への影響(在来種との交雑)もあります。人間社会への影響として、「水路をつまらせる」、「毒がある(人畜に有害)」、「花粉症を引き起こす」などがあります。



ホテイアオイ  
(大増殖して水路をつまらせる)



アメリカネナシカズラ  
(在来の寄生植物を減ぼす)



ナルトサワギク  
(人畜に有害な毒がある)



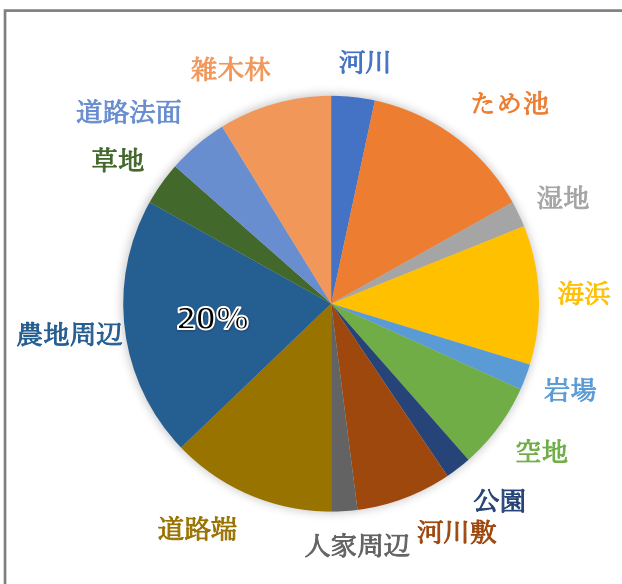
オオカワヂシャ  
(希少在来種のカワヂシャと交雑する)



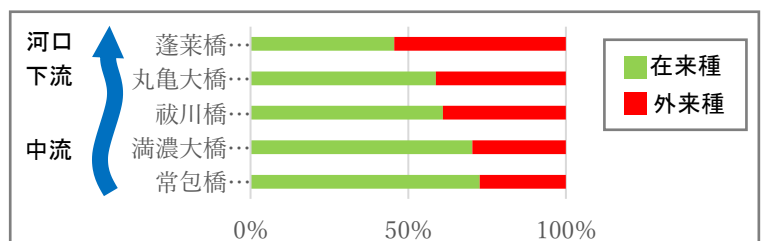
ノハカタカラクサ  
(日陰に耐えて生える力が強く、写真のように雑木林の地表をおおいつけて、在来の植物を減ぼす)

## 私たちにできること

侵略的外来植物の多くは、農地周辺など、人間の影響を強く受けた環境に生育しています(図2)。土器川をみても、市街地に近い河口に近づくほど、外来種の割合が多くなっています(図3)。つまり、人間によつて開発され、在来種が少なくなった環境は、外来種が侵入しやすいのです。開発前に在来種の種子を採取し、開発後に散布するなどの工夫が必要であると考えられます。



【図2】 香川県の侵略的外来植物の生育環境



【図3】 土器川における在来種・外来種の割合

# 香川県の哺乳類

## 香川県では、約3割が外来種

香川県では、これまで38種の陸生哺乳類が確認されています。絶滅したニホンカワウソを除くと、現在、香川県に生息する種は37種で、そのうちの約30%が外来種です。

在 来 種	27種
外 来 種	11種
(侵略的外来種)	(8種)



【表2】外来種一覧(哺乳類)

- ① ハツカネズミ
  - ② ドブネズミ
  - ③ クマネズミ
  - ④ ヌートリア
  - ⑤ カイウサギ(アナウサギ)
  - ⑥ イエネコ
  - ⑦ ハクビシン
  - ⑧ イヌ
  - ⑨ シベリアイタチ  
(対馬以外のチョウセンイタチ)
  - ⑩ アライグマ
  - ⑪ ヤギ
- 赤文字の種は、侵略的外来種



侵略的外来種のネズミ類は、主に人家・私有地に生息しているため、行政主導の防除が困難です。所有者が中心となつて防除を進める必要があります。カイウサギとヤギは離島で生息しており、島外に拡散する可能性は低いと思われませんが、エサとなる在来植物への影響が心配されます。イヌやネコなどペットを飼育する際には、適切に管理し最後まで責任を持つて世話をしなければなりません。ヌートリアやアライグマを見つけたら、被害に遭った場合には、各市町の担当課に連絡・相談してください。

和名/被害内容: ①ハクビシン/農作物の被害 ②アライグマ/農作物の被害 ③イタチの一種/シベリアイタチとニホンイタチの競合

# 香川県の鳥類

## 香川県では、外来種はごく一部

香川県では、これまで328種の鳥類が確認されており、そのうちの約2%が外来種です。

在 来 種	320種
外 来 種	8種
(侵略的外来種)	(6種)



【表3】外来種一覧(鳥類)

- ① インドクジャク
  - ② コリンウズラ
  - ③ コウライキジ(大陸産亜種)
  - ④ コブハクチョウ
  - ⑤ ソウシチョウ
  - ⑥ ハッカチョウ
  - ⑦ ヒゲガビチョウ
  - ⑧ ベニスズメ
- 赤文字の種は、侵略的外来種

(①小豆島で野生化したことがある。)  
(⑧新川河口で野生化したことがある。)



侵略的外来種の鳥類は、狩猟関係で輸入した2種(狩猟対象のコウライキジ、猟犬の訓練用のコリンウズラ)以外は、全てペットとして連れてきた種です。飼っているときに逃げられてしまいが、野生化する事例がほとんどですが、コブハクチョウは意図的に放鳥されたものやその子孫です。

外来種は、在来種のエサ資源を奪うライバルとなり、中には生態的な地位を脅かす可能性もあります。逃げられないように、最後まで気を付けて飼育しなければなりませんし、野生化した個体に、エサやりをしないようにしなければなりません。

和名/野生化の理由: ①コブハクチョウ/意図的な放鳥 ②ハッカチョウ/ペットの逃げ出し ③コウライキジ/狩猟用に放鳥

# 香川県の爬虫類

## 香川県では、2割弱が外来種

香川県では、これまで18種の爬虫類が確認されており、そのうちの約17%が外来種です。

侵略的外来種のカメ類は、3種ともペットとして連れてきた種で、飼育を放棄して逃がしたものが野生化しました。いずれの種も在来の生き物を食べます。特に、ミシシッピアカミミガメは雑食で、希少種を含む動植物を食べ、さらに、在来のカメ類と餌や日光浴場所等を巡って競合するなど、生態系に大きな影響を与えるため問題となっています。

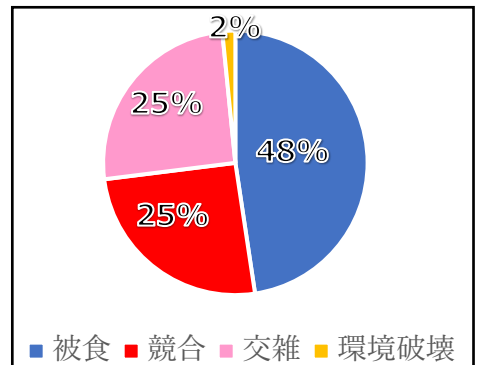
香川県の希少野生生物が受けている外来の動植物による主な被害内容は、被食(外来種に食べられる)、競合(生き残りをかけて外来種と争う)、交雑(外来種との間に子供ができて、雑種化する)です(図4)。



在 来 種	15種
外 来 種	3種
(侵略的外来種)	(3種)

【表4】外来種一覧(爬虫類)

- ① ミシシッピアカミミガメ
  - ② ワニガメ
  - ③ カミツキガメ
- 赤字の種は、侵略的外来種



【図4】香川県で外来の動植物の影響を受けている希少野生生物の被害内容の割合

和名/在来種への影響: ①ミシシッピアカミミガメ/捕食 ②カミツキガメ/捕食

# 香川県の両生類

## 香川県では、外来種は1種

香川県では、これまで15種の両生類が確認されており、外来種はウシガエルの1種のみです。

在 来 種	14種
外 来 種	1種
(侵略的外来種)	(1種)



ウシガエル  
(世界と日本の侵略的外来種ワースト100に選ばれている)

ウシガエルは、1918年に、食用・養殖(輸出)用として北アメリカから連れてきました。昭和戦前期に養殖場から逃げ出し、野生化しました。大型種なので、口に入るものは何でもたくさん食べて大きくなります。さらに幼生(オタマジャクシ)は、希少在来種のニホンヒキガエルの卵を食べるなど、一生をとおして在来生物に与える捕食圧力が大きいので、問題となっています。

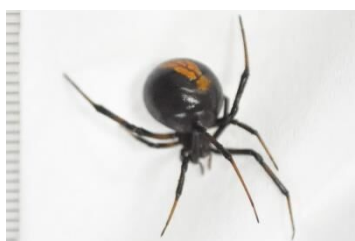
# 香川県の昆虫類



ビワキジラミ  
(四国から本州へ侵入している)

ビワキジラミは、成虫も幼虫もビワの汁を吸い、排泄物で果実を汚し、ビワの果実の生産量を落とすため、問題となっています。2012年に徳島県で発見され、2016年に香川県に侵入しました。

# 香川県の陸生節足動物



セアカゴケグモ  
(日本の侵略的外来種ワースト100に選ばれている)

セアカゴケグモは、神経毒を有し、人をかむことがあるため、問題となっています。建築資材などに紛れ込んで侵入したらしく、1995年に大阪府で最初に見つかり、香川県では、2009年に見つかりました。

# 香川県の淡水魚類

## 香川県では、約3割が外来種

香川県では、これまで75種の淡水魚(汽水魚を除く)が確認されており、そのうちの約32%が外来種です。

集計に含めていませんが、在来種の中には、県外から持ち込まれた国内の個体(国内外来種)が混ざっていると思われるものが11種あり、遺伝子汚染が進んでいます。

在来種	51種
国内外来種	13種
国外外来種	11種
(侵略的外来種)	(7種)



【表5】外来種一覧(淡水魚類)

<国内外来種>	<国外外来種>
①ゲンゴロウブナ	①タイリクバラタナゴ
②ニゴロブナ	②ソウギョ
③ワタカ	③ハクレン
④ハス	④アオウオ
⑤オイカワ	⑤ニジマス
⑥ウグイ	⑥タウナギ
⑦タモロコ	⑦カダヤシ
⑧カマツカ	⑧ブルーギル
⑨コライニゴイ	⑨オオクチバス
⑩コウライモロコ	⑩カムルチー
⑪ギギ	⑪アリゲーターガー
⑫ワカサギ	
⑬アマゴ	

■赤字の種は、侵略的外来種  
■ウグイ、ワカサギは通し回遊魚

侵略的外来種は、全て純淡水魚類(淡水域で一生を過ごす)で、ほとんどが、ため池、河川の中流・下流など、止水域に好んで生息しています。国内外来種の一部が通し回遊魚(海と淡水域を行き来する)です。外来魚の導入目的の半数は「食用」ですが、侵略的外来種は、「釣り用」、「ポウフラの駆除」、「水草の除去」、「ペット」など、その他の理由で輸入されています。偶然連れてきた侵略的外来種は、「養殖魚に混入」して侵入しました。

侵略的外来種の被害内容は全て「生態系への被害」で、最も多いのは、「在来魚の捕食圧」、その他に在来種との「競合」・「交雑」などがあります。食用以外の目的で外来魚を輸入・導入する場合、本来に必要な種かどうかも含めて、よく調べて、慎重に考える姿勢が私たちに求められています。

和名/導入目的: ①ブルーギル/養殖(寄贈) ②オオクチバス/釣り用 ③カダヤシ/ポウフラの駆除 ④タモロコ/食用 ⑤カムルチー/食用

# 香川県のその他の無脊椎動物

## 香川県の淡水産貝類

香川県では、これまで42種の淡水産貝類が確認されており、そのうちの約21%が外来種です。

在来種	33種
外来種	9種
(侵略的外来種)	(3種)

【表6】外来種一覧(淡水産貝類)

①スクミリンゴガイ
②ハブタエモノアラガイ
③タイワンモノアラガイ
④サカマキガイ
⑤クルマヒラマキ
⑥インドヒラマキ
⑦ヒロマキミズマイマイ
⑧マルドブガイ
⑨タイワンシジミ

■赤字の種は、侵略的外来種  
■⑥は国内外来種



スクミリンゴガイ  
(食用に輸入された後、廃棄され野生化した。水稻などを食害する。)

## 香川県の淡水産甲殻類

アメリカザリガニは雑食性で何でもよく食べ、在来生物・生態系に与える影響が大きいため、問題となっています。



アメリカザリガニの素揚げ  
(1927年にウシガエルの餌として輸入された。国内では、防除を兼ねて食べることで、村おこしに活用している事例がある。)

植物

Table listing various plant species with their numbers and categories. Includes sections for '総合的に対策が必要な外来種', '緊急対策外来種', '重点対策外来種', and 'その他の総合対策外来種'.

Table listing various plant species with their numbers and categories. Includes sections for '適切な管理が必要な産業上重要な外来種', '国内由来の外来種', '特別選定種', '哺乳類', and '総合的に対策が必要な外来種'.

鳥類

Table listing bird species under the category '総合対策外来種'.

両生類・爬虫類

Table listing amphibian and reptile species under the category '総合対策外来種'.

魚類

Table listing fish species under the category '総合対策外来種'.

昆虫類

Table listing insect species under the category '総合対策外来種'.

陸生節足動物

Table listing terrestrial arthropod species under the category '総合対策外来種'.

その他の無脊椎動物

Table listing other invertebrate species under the category '総合対策外来種'.

侵入警戒種

Table listing species under the category '侵入警戒種', including fish, insects, and other invertebrates.

Summary table showing counts for various categories: 哺乳類 (8), 鳥類 (6), 両生爬虫類 (4), 魚類 (7), 昆虫類 (1), 陸生節足動物 (1), その他の無脊椎動物 (10), 植物 (148), 合計 (185).

特定外来生物